

現代は将来の予測が困難な時代であると同時に、超スマート社会（Society5.0）の時代が到来しつつあるとも言われています。また、子どもたちの人と人との相互理解や協働の精神の希薄化が危惧されるところです。令和3（2021）年の中央教育審議会 答申「令和の日本型学校教育」には、“誰一人取り残さない”ことを大きな理念として、“個別最適な学び”と“協働的な学び”の実現を掲げています。木津川市教育委員会では、こうした状況を踏まえ、平成26（2014）年3月に策定した「第1次木津川市教育振興基本計画」の成果と課題を整理するとともに、めざす子ども像や教育の目標を明確にし、今後10年間の本市教育行政の基本的な方向を示すため本計画を策定しました。

基本理念

めざす子ども像

共に「学び」「喜び」「成長し」
未来を力強く生きる“きづがわっ子”

めざす教育の姿

一人一人の可能性を伸ばし、多様な幸せを実現する力をはぐくむ

一人一人が輝き、持続可能な社会の一員としての基盤をはぐくむ

木津川市の力を結集し、地域社会全体で守りはぐくむ

重点目標

- 1 「個別最適な学び」と「協働的な学び」
- 2 多様性を尊重し合う豊かな人間性
- 3 健やかな体の成長
- 4 持続可能な社会を築く生きる力
- 5 学びを支える教育環境の整備
- 6 地域を学び、家庭・地域とともに生きる

- | | |
|------|-----------------|
| 視 点1 | 子どもの未来への見通し |
| 視 点2 | 多様な子どもの学び |
| 視 点3 | 木津川市の特色や地域資源の活用 |
| 視 点4 | ICTの積極的な活用 |